

# プランのめざすもの

## ●基本目標

社会経済環境は絶えず変化しています。また人びとの関心をひくさまざまな事象が生まれています。これらに対応して、主体的に学び続けることが生涯学習であると考えられます。

また、個人の知識や能力を高めるだけでなく、学習を通じた交流や得た成果を共有することなどによって他者とのつながりを生み出し、得られた経験・知識・技術・ノウハウが地域や社会のなかで循環していくことが大切です。そういった人の輪の広がりがコミュニティ活動やまちづくり活動を支えるなど、生涯学習は地域や社会の発展にも大きな役割を担うものです。

このような生涯学習活動は、あくまで市民の主体的な取り組みのもとに行われるものであり、そのためには活動の機会がすべての市民に開かれていることが重要です。

このため、行政は「だれもが」「いつでも」「どこでも」学ぶことができるよう、学習活動に向けての啓発活動、環境整備、条件整備を進め、市民の生涯学習への取り組みを支援します。

活力のある市民が育ち、元気な和泉市のまちづくりにもつながるよう生涯学習推進の基本目標を「**学びが巡り、人とまちが輝く・和泉**」と定めます。

## ●目標に向けての3つの柱

### 【学びの場づくり】

学習する人たちの立場に立って、「だれもが」「いつでも」利用できるよう、運営面を含めて生涯学習施設の充実をはかるとともに、学習圏に応じた役割・機能の明確化のもとにこれらのネットワークを形成し、「どこでも」学習するための環境を整備します。また、学習のための場は、学校・大学・民間施設などが多様に存在することから、これらとも連携を進め、市民の学習の場を広げます。

### 【学びの機会づくり】

それぞれの学びの場にふさわしい学習機会を体系的に提供するとともに、時代の変化やニーズの把握のもとに、新たなテーマや手法に基づく学習機会の充実を進めます。また、学習機会の企画や開発に際しては市民との協働のもとに取り組むとともに、自主的な学習活動を支援します。

### 【学びの体制づくり】

庁内の連携をはじめ、関係機関や団体との連携を広げ、深めるとともに、広く市民を巻き込んだ各種の人材育成を推進し、市民と行政が一体となった学びの体制づくりを進めます。

「生涯学習」という言葉は、人びとが生涯にわたって、主体的に行うさまざまな学習(学校や地域などでの学習・文化・芸術・スポーツ・レクリエーション・趣味・ボランティア活動など)という、幅広い意味で用いられています。人びとが豊かで充実した人生を送るために、また絶えず変化する社会経済環境に適切に対応できるよう、自分に合った方法や手段で学習活動が行えることが必要です。行政は、このような生涯学習を支援するための環境・生涯学習社会の仕組みをつくることに取り組んでいます。

## ●おもな生涯学習関連施設等(一部の福祉施設を含む)



**第2次和泉市生涯学習推進プラン 概要版**  
 発行年月：平成25年3月  
 発行：和泉市 〒594-8501 大阪府和泉市府中町二丁目7番5号 TEL 0725(41)1551  
 (この冊子は75,000部作成し、1部あたりの単価は約15円です)  
 この冊子は再生紙を使用しています



# 学びが巡り、人とまちが輝く・和泉

第2次和泉市生涯学習推進プラン 概要版

平成25年3月 和泉市

# プラン策定の背景

## ●これまでの取り組み

和泉市では、市における生涯学習の基本理念を明らかにし、この基本理念に基づく諸方策の方向性を示すものとして、平成10年10月に『和泉市生涯学習推進基本構想』を策定し、その基本的な考え方として、①自己学習の確立、②相互学習の推進、③コミュニティづくり、④総合行政の推進を掲げました。

この基本構想を具体化するため、平成14年3月に策定された『和泉市生涯学習推進プラン』(目標年次：平成23年)では、基本目標を「人いきいき、緑かがやく生涯学習都市・和泉」とし、「学びの場づくり」「学びの機会づくり」「学びの体制づくり」を柱として、学習のための施設整備、学習機会の充実、学習推進のための体制づくりなどの施策展開に取り組んできました。

この間、少子高齢社会の進行や経済の長期停滞など市と市民を取り巻く社会経済状況が変化してきました。また、平成18年12月に『第4次和泉市総合計画』(目標年次：平成27年)が策定されたほか、国において

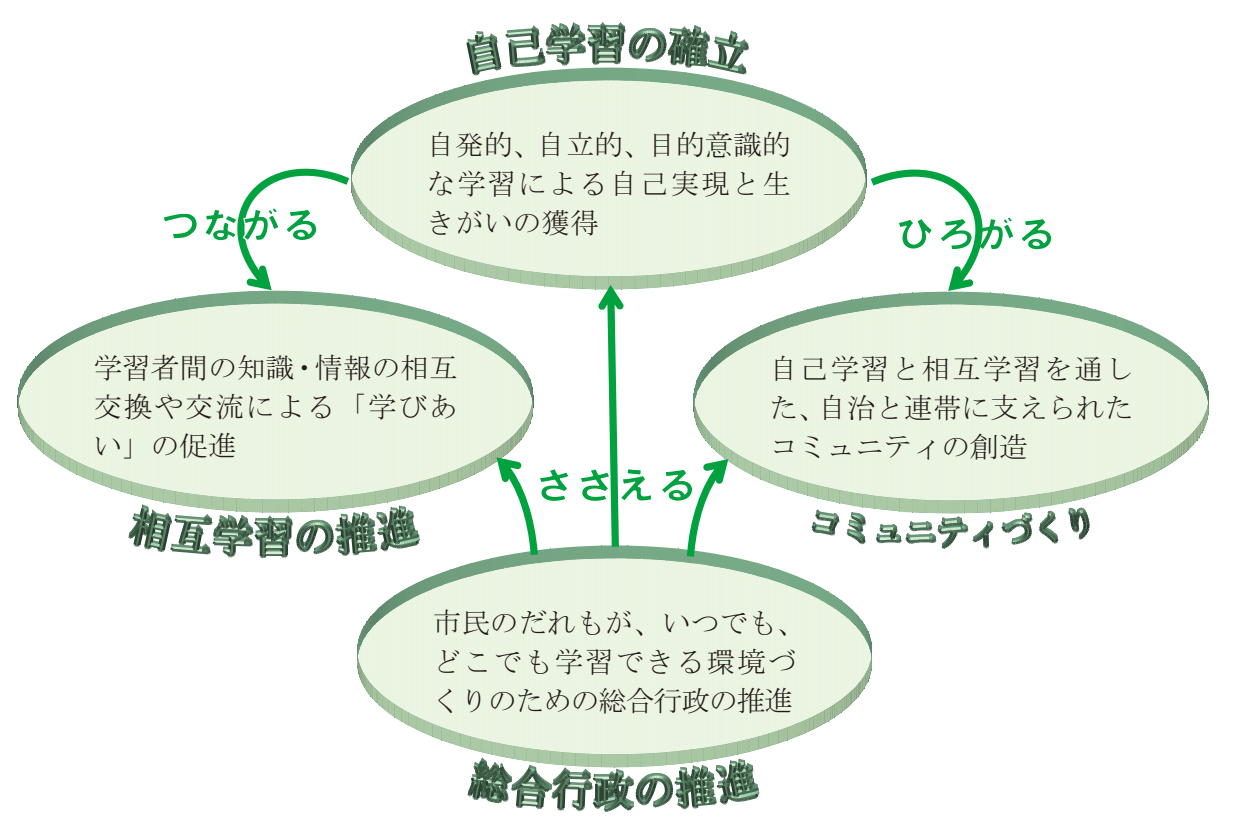
も教育基本法の改正(平成18年)、社会教育法の改正(平成20年)、教育振興基本計画の策定(平成20年)が行われるなど、生涯学習を取り巻く環境は変化を続けてきました。『和泉市生涯学習推進プラン』が目標年次を迎えたいま、これらの変化を受け止めつつ、市民の主体的な学習とまちづくりをさらに推進するため、これを改訂するものです。

## ●プランの位置づけと目標年次

この推進プランは、『和泉市生涯学習推進基本構想』や『第4次和泉市総合計画』を受けて、和泉市における生涯学習の推進に関し、総合的、計画的な展開をはかるための指針として位置づけるものです。

平成25年(2013年)を初年度とし、長期的展望のもとにおおむね10年後の平成34年(2022年)を目標年次としています。実施にあたっては、5年ごとまたは、生涯学習に関わる大きな環境の変化が生じた場合に見直しを行います。

## ●和泉市生涯学習推進基本構想の基本的な考え方

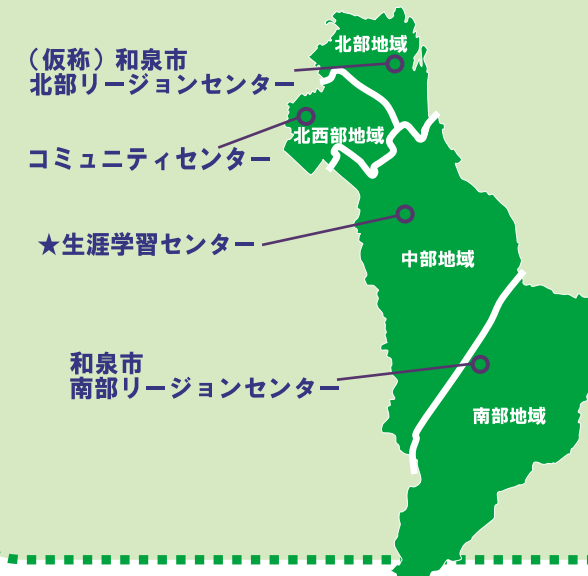


表紙写真：上から、横(市の木) / コダイくん、ロマンちゃん(市イメージキャラクター) / いずみの高殿(池上曾根史跡公園) / 水仙(市の花) / 久保惣記念美術館 / 和泉シティプラザ

# みんなの学びのために

## 1 どこでも学べる環境をつくりま

4つの地域の生涯学習活動拠点施設を位置づけ、生涯学習センターを中心にこれらの施設が連携しながら、生涯学習に関するさまざまな事業や情報提供を行います。



- ◆学習機会の提供、情報提供・相談、人材・グループの紹介など生涯学習センターの機能を充実します。
- ◆地域の拠点となる施設の整備と機能の充実を進めます。
- ◆図書館・美術館などの文化施設、各種スポーツ・レクリエーション施設などにおいて自主事業や情報提供などを充実します。
- ◆学校などの身近な学習施設においては、より一層地元との連携を深め、気軽に親しみやすい学習施設をめざします。
- ◆生涯学習施設のほか、他の公共施設・公的施設や大学・研究機関、民間施設なども含めた生涯学習情報の収集・提供体制を充実し、また施設相互の連携体制を強化します。

## 3 豊かな情報と学ぶ楽しさを提供します

必要なときに必要な学習情報を的確に提供します。また学習相談機能を充実します。そのほか、楽しく効果的な学習手法の開発など主体的な学習を支援する機能を総合的に充実します。

- ◆情報通信技術を活用した講座の検討や、学ぶ人の創意や創造力を引き出すなど新たな学習手法の提供を進めます。
- ◆学習の実態や学習を進める上での課題やニーズを的確に把握し、講座内容や学習手法などの支援施策全体に反映します。



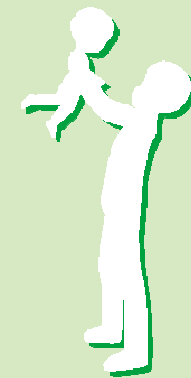
- ◆施設や講座などに関する情報、学習グループや指導者・講師に関する情報などを、インターネットの活用などによってわかりやすく提供します。
- ◆学習方法や教材などの相談に応じるための機能を充実するとともに、学習をバックアップするための人材を育成します。

## 2 だれもが、さまざまに学べる機会を充実します

生涯学習は、市民が主体的に、自分にふさわしい手段や方法を選び、その自発性に基づいて学び続けていくことに意義があります。これを支援するため、それぞれのライフステージにふさわしい学習機会の充実や、時代とともに変化する社会的な課題に応じた学習機会の充実をはかります。

### ライフステージに応じて

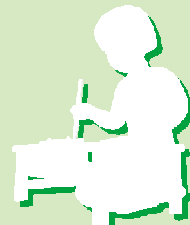
- ◆幼いころから本や知識に親しむことをうながします。また、育児教室の充実など健全な子どもを育てるための学習機会を充実します。



- ◆青少年の学習意欲をかきたてる講座の開催を展開するとともに、自己学習に取り組む青少年を育てます。また、郷土をよく知り、これを受取る青少年を育成します。
- ◆識字学級や国際的な文化交流などの充実、男女共同参画社会の形成に向けた学習機会を充実します。
- ◆高齢者を対象とした講座や世代間交流の促進にもつながる学習機会を充実します。また、リーダー養成講座など高齢者の社会参加をうながす学習機会の創造と学習成果の活用を充実します。
- ◆講座などの日程や時間帯などを配慮するなど、だれもが参加しやすい事業の推進に努めます。

### 社会的な課題に応じて

- ◆生涯学習を通じて「人権文化」が息づき、多くの人が率先して福祉活動に参加し、ともに生きる社会の形成をはかります。
- ◆外国人との交流など、国際化への対応と国際理解の推進に向けた学習機会を充実します。
- ◆生涯学習の場においても、市民一人ひとりが環境問題やエネルギー問題を自らの問題として捉え、環境にやさしいまちづくりに取り組むことをめざします。
- ◆伝統文化や優れた文化・芸術に触れる機会、市民自らが文化・芸術を創造する機会を充実します。



## 4 市民が主役の生涯学習のまちをつくりま

生涯学習のあらゆる場面で、みんなが主体的に関わることができる環境を整備し、市民自身が推進する生涯学習社会を実現します。

- ◆講座などについて、その企画段階から市民の積極的な参画を促進するとともに、学習プログラムの開発、事業の実施などにおいても市民が主体的に参画できる体制を整えます。

- ◆大学・研究機関、市民公益活動団体（NPO）、事業者などがもっている専門知識やノウハウ、学習の場などの資源を市民が活用できるよう努めます。
- ◆講座などの修了認定・単位認定制度や認定証取得者が指導者として登録できる制度を検討するなど、学習成果が的確に評価され、その成果が地域や社会のなかでいかされる仕組みを整備します。



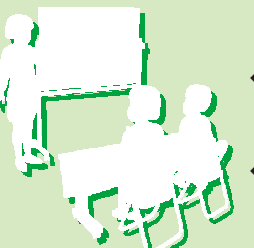
## 5 地域の活性化を応援します

おおむね小学校区を単位とした身近な学習圏での学習環境を充実するとともに、地域の自主的な学習活動を支える体制を充実します。

- ◆地域教育協議会の充実・強化やPTAとの連携など、学校、家庭、地域の連携によって、地域における自主的な学習活動を促進します。
- ◆地域住民が自らの地域のことを学ぶとともにその課題を発見し、またその解決のために行動することを支援します。

## 6 人を育てます

まちづくりや地域づくりに取り組む人を育てる場としても生涯学習を捉え、幅広い人材を育成します。

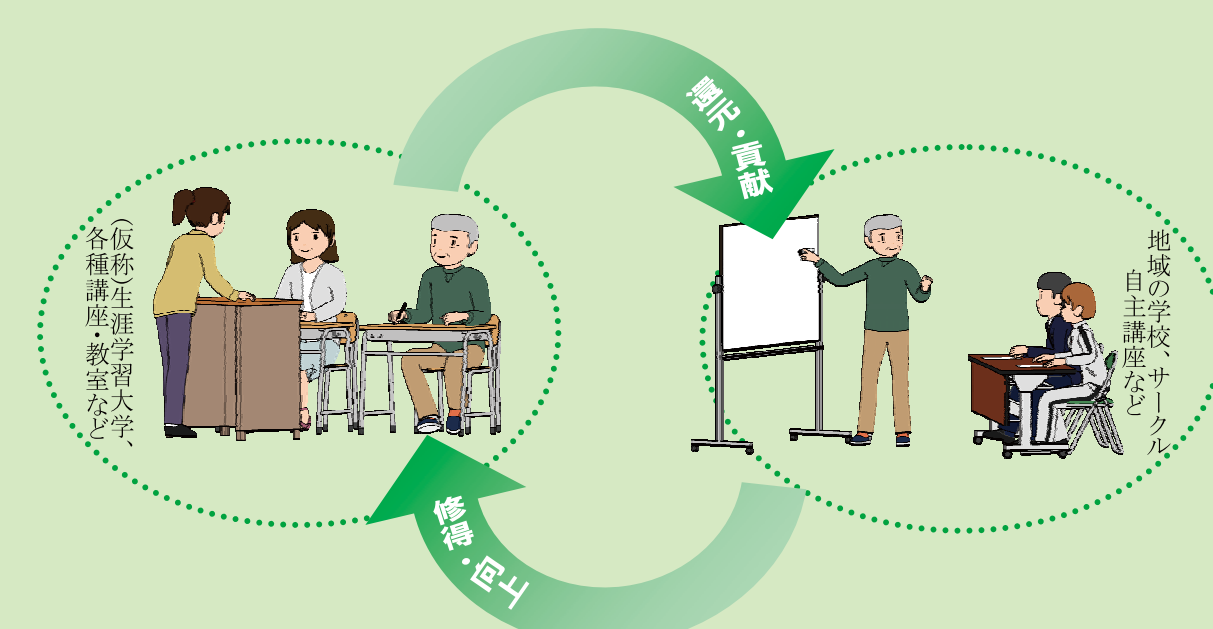


- ◆各分野の指導者やガイドとして必要な知識や技術の修得を目的とした講座などを充実します。
- ◆「和泉市生涯学習人材データバンク」を充実します。

## 7 学習のための場や機会を総合化します

和泉市における生涯学習全体を体系として整備するとともに、これを計画的・総合的に推進するための体制を整備し、**学びが巡り、人とまちが輝く・和泉**を実現します。

- ◆総合的な生涯学習の場として、(仮称)生涯学習大学を設置します。ここでは、生涯学習に関する講習などを総合的に展開します。また目標をもって学習ができるよう、単位認定制度等の導入を進め、単位認定者等を講師として迎えるな



ど、学習成果発表の場として、また、地域への貢献の場としての活用をはかり、「知の循環」の発信源としての役割を果たします。

- ◆計画的に、また段階ごとに達成感をもって学習活動を継続するためには、学習者の関心を高める学習内容であるだけでなく、予備知識のない水準から専門的な水準まで段階的に学べるよう、学習圏の体系化とこれに対応した学習プログラムの編成をはかります。

## 8 生涯学習を計画的に推進します

- ◆生涯学習推進本部のもとに、生涯学習施策の推進に向けた指令塔として設置した生涯学習推進委員会の活動を充実します。
- ◆生涯学習に関わる庁内の連絡や事業などの調整機能を充実し、事業に関する連絡・協議や調整

を行うための体制を整備します。

